

建築家

古川泰司

施工予定の改正建築基準法で
木造準耐火建築物の
可能性が一気に広がります。
設計者は、今まで以上に木材および
JAS製材（機械等級区分構造用製材）の
需要を喚起すべきだと思います。

PROFILE

古川泰司 [ふるかわ やすし]

1963年新潟県生まれ。'85年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。'88年筑波大学大学院芸術学系デザイン専攻建築コース修了。長谷川敬アトリエなどを経て、'98年アトリエフルカワ一級建築士事務所設立。「わらしべの里共同保育所」では、燃え代設計による木造45分準耐火構造を実現した。主著に「木の家に住みたかったら。」(エクスマレッジ)がある

インタビュー全文は建築知識2019年2月号に掲載しています

人物写真=水谷綾子 / 建物写真(わらしべの里共同保育所)=傍島利浩

柱材であれば180mm角の
大断面JAS製材もあります。
これくらいの太さであれば、
燃え代設計にも対応しやすいので、
都市部でも軸組を現しとする
木造建築（準耐火建築物）が実現します。

構造物

山田憲明

PROFILE

山田憲明 [やまだ のりあき]

1973年東京都生まれ。'97年京都大学工学部建築学科卒業。同年増田建築構造事務所入所。2012年山田憲明構造設計事務所設立。「国際教養大学中嶋記念図書館」や「ペラピスタ スパ&マリナー尾道 メインダイニング エレキア」、「竹林寺納骨堂」、「大分県立武道スポーツセンター(仮)」など、木造建築の構造設計者として第一線で活躍中。主著に「ヤマダの木構造」(エクスマレッジ)がある

詳しくは **一般社団法人全国木材組合連合会内 JAS構造材利用拡大事業事務局へ**

JAS構造材利用拡大事業:林野庁補助事業

福井県木材組合連合会 TEL 0776-35-5663 FAX 0776-35-7212 Eメール fukui-mokuren@fukui-mokuren.jp